

# 綿 スフ 織物情報

2022年(令和4年) 12月号 Vol. 1881

発行所: 一般財団法人 日本綿スフ機業同交会  
東京都港区西麻布 1-8-7 綿工連会館 2F  
TEL(03)3403-9671 FAX(03)3403-9679  
URL: <https://www.jcwa.jp>

## 主 な 内 容

11月の綿工連産地・企業の展示会開催・出展／12月の綿工連産地・企業の展示会出展／綿工連産地組合事務局会開催／令和4年度第2次補正予算案「中小企業・小規模事業者等関連予算」について／経産省、下請取引の適正化について関係事業者団体に要請／経産省、中小企業・小規模事業者に対する金融の円滑化を関係機関に要請／主な補助金・助成金の申請スケジュール／第144回繊維通商問題委員会開催／綿工連産地・企業の新聞記事一覧(2022年11月)／特許公開情報

### ●11月の綿工連産地・企業の展示会開催・出展

11月の綿工連産地企業の展示会出展実績は下記の通り。

- a) 「JFW-Japan Creation 2023」 11月1日(火)～2日(水)、東京国際フォーラム
- 高島織物工業協同組合 「第37回ビワタカシマ2024春夏素材展」  
川島織布、駒田織布、坂尾織物、杉岡織布、高麻、本庄織布、マスタ、高島晒協業組合
  - (公財)北播磨地場産業開発機構 「播州織総合素材展2023」  
桑村繊維、服部テキスタイル、播、播州織工業協同組合
  - 岡山県織物構造改善工業組合(ショーワ、タケヤリ、丸進工業)
- b) JFW-Premium Textile Japan 2023 A/W (JFW-JCと同時開催)
- 古橋織布(遠州)、
  - 「井原デニム」岡本テキスタイル、クロキ、日本綿布、吉河織物(備中)
  - カイハラ(広島)
  - 倉敷染(岡山県織物染色工業組合)
- c) 「デニムスアンドジーンズ・ジャパン」 11月1日(火)～2日(水)、東京・池袋サンシャインシティ
- ショーワ(岡山)、日本綿布(備中)、篠原テキスタイル(広島)
- \*国内外10カ国の織布、染色加工企業等が出展するデニム総合展示会、日本初開催

d) 高島織物工業協同組合 「第37回ビワタカシマ素材展2024春夏」

11月24日(木)～25日(金)、綿業会館

川島織布、駒田織布、坂尾織物、杉岡織布、高麻、本庄織布、マスダ、高島晒協業組合

## ●12月の綿工連産地・企業の展示会出展

「エコプロ」12月7日(水)～9日(金)、東京ビッグサイト

セイショク(岡山) 出展

## ●綿工連産地組合事務局会開催

綿工連は、11月8日(火)に知多産地において本会産地組合の事務局会を開催、10組合の事務局が出席した。知多産地の広幅織機の機業と小幅織機の機業を見学した後、組合事務所で行った事務局会議では、組合が抱える共通の課題や取組みについて意見交換を行った。来年の事務局会は泉州産地で開催の予定。

## ●令和4年度第2次補正予算案「中小企業・小規模事業者等関連予算」について

10月28日に閣議決定された「物価高・円安への対応」、「構造的な賃上げ」、「成長のための投資と改革」を重点分野とした「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」を含む今年度第2次補正予算案で中小企業・小規模事業者等関連予算は約1兆1,190億円、綿スフ織物業で利用可能な事業を以下抜粋する。本予算は12月2日に成立した。

### 1. エネルギー価格高騰への対応と安定供給確保

#### (1) 価格高騰対策

##### ①電気・ガス価格激変緩和対策事業【3兆1,074億円】

ロシアによるウクライナ侵略等を背景としたLNG等の燃料価格の高騰により、今後も電気・都市ガス料金の上昇が見込まれる中で、小売事業者を通じた激変緩和措置により、家庭や価格転嫁の困難な企業における電気・都市ガス料金の負担の軽減を図る。

##### ②燃料油価格激変緩和対策事業【3兆272億円】

長引く原油価格の高騰が経済回復の足かせとなり、国民生活や経済活動に悪影響が生じるのを防ぐことを目的として、燃料油価格の激変緩和対策事業を実施することで、ガソリンなどの燃料油の卸価格抑制を通じて、小売価格急騰の抑制を図る。

#### (2) 省エネルギー

##### ①省エネルギー設備への更新を促進するための補助金【500億円】



※国庫債務負担含め総額1,625億円

省エネ性能の高い設備への更新に係る費用を補助することにより、エネルギー価格高騰に苦しむ中小企業等の省エネ対策を促進。複数年の投資計画に切れ目なく対応できる新たな仕組みを創設し、まずは今後3年間、集中的に支援を実施する。

④中小企業等に向けた省エネルギー診断拡充事業【20億円】

工場・ビル等の省エネ診断の実施やそれを踏まえた運用改善等の提案に係る費用を補助することで、中小企業等の省エネを強力に推進する。

2. 継続的な賃上げを促進するための中小企業等の支援

①中小企業等事業再構築促進事業【5,800億円】

②中小企業生産性革命推進事業【2,000億円】

※国庫債務負担含め総額 4,000億円

新型コロナや物価高、インボイス制度等の事業環境変化への対応に加え、GX・DXなどの成長分野への前向き投資や賃上げ、国内回帰や海外展開を促すため、中小企業・小規模事業者が行う事業再構築や生産性向上の取組を切れ目なく支援する。

③資金繰り支援等【2,981億円】※財務省計上分212億円を含む。

コロナ関連融資の借換えによる返済負担軽減に加え、新たな資金需要にも対応するための信用保証制度を措置するとともに、セーフティネット貸付やスーパー低利融資により、新型コロナや物価高騰の影響を受けた事業者等を支援する。また、認定支援機関による経営改善計画の策定等の支援や、創業時の経営者保証を徴求しない信用保証制度の創設、中小機構の出資機能の強化を図る。

3. 円安を活かした経済構造の強靱化

⑧海外市場開拓・有志国サプライチェーン構築等促進事業【190億円】

国際情勢の変化が激しい中、円安の環境を利用して、「新規輸出中小企業1万者支援プログラム」等の海外展開を目指す中堅・中小企業等の海外市場開拓・輸出の拡大、有志国間のグローバルサプライチェーンへの参画、対日直接投資・インバウンドの促進等を支援する。

○「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」に係る事業一覧

「経済産業省関係令和4年度補正予算のポイント」の11&12/12ページ



令和4年度補正予算案(中小企業・小規模事業者等関連)【1兆1,190億円】

1. 資金繰り支援【2,981億円】 ※財務省計上分212億円を含む

【新たな借換保証制度の創設】

- 民間ゼロゼロ融資(実質無利子・無担保融資)からの借換需要に加え、他の保証付融資からの借換や新たな資金需要にも対応するため、**100%保証は100%保証で借換え**することができる**保証制度を創設**。金融機関による継続的な伴走支援による経営改善に取り組む事業者(一定の売上減少要件等を満たす場合)の保証料の一部を補助(保証上限1億円、保証料0.2%等)。

【経営者保証を徴求しない創業時の信用保証制度の創設】

- 創業時に課題となる**経営者保証を不要とする信用保証制度を創設**(保証上限3,500万円)。事業者が債務不履行となった場合に発生する信用保証協会の損失の一部等を補填。

→具体的な制度設計は、年内メドにとりまとめ予定

※上記に加えて、日本政策金融公庫等による資金繰り支援(セーフティネット貸付の金利引下げ、スーパー低利融資、資本金劣後ローンの供給)の継続(2023年3月末まで)、認定経営革新等支援機関による計画策定を条件とした保証制度や資本金劣後化(保証付DDS)、中小機構の出資機能の強化を措置。

2. 価格転嫁対策の更なる強化【4.8億円】

- 中小企業の取引環境を改善するため、**価格交渉促進月間**等を通じ中小企業の価格交渉と転嫁が定期的に行われる取引慣行の定着を図るとともに、インボイス制度導入等にかかる取引実態等を把握。
- さらに、**下請Gメンの体制を強化し、300名体制**へ。

3. 事業再構築補助金【5,800億円】

- 成長分野への転換を図る事業者(成長枠)**に対しては、グリーン成長枠と同様に**売上減少要件を撤廃**。また、**大胆な賃上げ**に取り組む事業者には、**更なるインセンティブ(補助率・補助上限の引上げ)**を措置。
- 市場規模が縮小する業種・業態からの転換や、円安を活かした国内回帰**を図る事業者を対象とする**支援枠を新設**。**業況が厳しい事業者**については、**引き続き高い補助率**で支援。

【成長分野への転換の支援】

- 市場規模が10%以上拡大する業種・業態への転換を支援する「**成長枠**」を**新設**。また、「**グリーン成長枠**」について、研究開発等の要件を2→1年に短縮等した「**エントリークラス**」を**新設**し、裾野拡大。
- 事業終了後3~5年で**中小・中堅企業から中堅・大企業へ卒業した場合に上限が2倍**となる「**卒業促進枠**」も新たに用意。

【賃上げに対する支援】

- グリーン成長枠・成長枠において、**補助事業期間内に事業場内最低賃金を年45円以上引上げた場合等に補助率を1/2→2/3に引上げ**。また**事業終了後3~5年で同水準等を達成すれば上限3,000万円増**。

【産業構造転換等の促進】

- 市場規模が10%以上縮小する業種・業態からの転換を支援する「**産業構造転換枠**」を**新設**し、**廃業費がある場合、上限を2,000万円上乗せ**。海外から**国内への回帰等を促進する「サプライチェーン強靱化枠」**(上限5億円、補助率1/2)も**新設**。

【業況が厳しい事業者への支援】

- 新型コロナや物価高等**により業況が厳しい事業者や、**最低賃金引上げの影響**を大きく受ける事業者を**引き続き手厚く支援**(補助率:2/3~3/4、**売上10%減少**等が要件)。**成長分野へ(売上減少要件撤廃)**

類型	最低賃金枠	物価高騰対策・回復再生応援枠	産業構造転換枠	成長枠	グリーン成長枠		サプライチェーン強靱化枠
					エントリー	スタンダード	
補助上限	最大 1,500万円	最大 3,000万円	最大 7,000万円	最大 7,000万円	8,000万円 (中堅1億円)	1億円 (中堅1.5億円)	5億円
補助率	3/4	3/4 (一部2/3)	2/3	1/2 (大規模賃上げ達成で2/3へ引上げ)			1/2

業況が厳しい事業者向け

賃上げ等へのインセンティブ

- 大規模賃金引上：上限3,000万円上乗せ
- 中小企業等からの卒業：上限を2倍に引上げ



#### 4. 生産性革命推進事業【2,000億円】※国庫債務負担含め総額4,000億円

- 中小企業・小規模事業者の設備投資、販路開拓、IT導入、事業承継等を支援。**グリーン分野への投資加速化、大胆な賃上げ、インボイス**への対応を支援すべく、**補助率や上限額を引上げ**。
- 中小企業・小規模事業者の**生産性向上のための取組を切れ目なく支援**するため、**交付金事業(令和5年度まで)**に加えて、**国庫債務負担行為(令和6年度まで)**により**長期的な予算措置を担保**。

**ものづくり補助金** (革新的製品・サービスの開発や、生産プロセス等の改善に必要な設備投資等を支援)

- 「**グリーン枠**」を拡充し、温室効果ガス排出削減の取組割合に応じて、**3段階の補助上限を設定**することで、**幅広い省エネニーズを取込み**。
- 「**グローバル市場開拓枠**」を新設し、海外展開に係る**ブランディング・プロモーション等の経費を補助対象へ追加**(ジャパンブランド事業を統合)。
- 事業終了後3~5年に事業場内最低賃金を年45円以上引上げ**等で**上限を最大1,000万円引上げ**。

類型	通常枠	デジタル枠	グリーン枠			グローバル市場開拓枠	回復型賃上げ・雇用拡大枠 (赤字事業者向け)
			エントリー	スタンダード	アドバンス		
補助上限	最大 1,250万円		最大 2,000万円	最大 4,000万円	3,000万円	最大 1,250万円	
	大幅賃上げを達成すれば、補助上限を引上げ(最大1,000万円)						
補助率	1/2	2/3			1/2	2/3	

**小規模事業者持続化補助金** (小規模事業者による経営計画策定及び販路開拓等を支援) **インボイス対応**

- インボイス枠を拡充し、課税事業者に転換する事業者の補助上限を50万円上乘せ**。  
(通常、上限は50~200万円、補助率2/3(一部3/4)。赤字事業者の補助率引上げ(3/4)は継続。)

**IT導入補助金** (中小企業の業務効率化やDXを推進するため、ITツール等の導入費用を支援)

- インボイス対応に必要なITツール導入促進のため、クラウド利用料(2年分)やハード(PC等)購入の補助対象化、補助率引上げ(1/2→2/3~3/4)を継続**(デジタル化基盤導入枠)。
- また、**安価なツール導入も支援**するため、**補助下限額(5万円)を撤廃**。

**事業承継・引継ぎ補助金** (事業承継・引継ぎにかかる設備投資や販路開拓、専門家活用、廃業費等を支援)

- 「**経営革新事業**」では、事業終了時に事業場内最低賃金が**地域別最低賃金+30円以上**等であれば、**補助上限額を600万円→800万円へと引上げ**(補助率は1/2~2/3)。
- (現経営者のみならず)後継者による取組も補助対象とし、**事業承継の早期化・円滑化を推進**。

#### 5. 円安環境への対応、相談体制強化【196億円+a】

##### <円安環境への対応>

##### <輸出促進>

- ・**中小企業国際化総合支援事業【5.4億円】**
- 海外展開を目指す中小企業等1万者支援**に向けて、**中小機構が戦略立案・具体化等を伴走型ハンズオン**で支援。
- 販路開拓等を支援する**JETRO事業**(海外市場開拓・有志国サプライチェーン構築等促進事業190億円の内数)**とも連携**。

##### <インバウンド>

- ・**面的地域価値の向上・消費創出事業【10億円】**
- 成長意欲のある**商店街等**による、自らの魅力・地域資源等を活かした**滞留・交流空間の整備**や、**消費を創出するための事業**等を支援。

##### <相談体制の強化>

##### <インボイス・物価高対応>

- ・**事業環境変化対応型支援事業【113億円】**
- 商工会・商工会議所等の相談対応の強化や指導員向け講習、よろず支援拠点コーディネーター増員等**による体制強化。地域企業のDX促進。
- 省エネ対策は、「**省エネ補助金(国庫債務負担行為含め総額1,625億円)**」「**中小企業等に向けた省エネルギー診断強化事業(20億円)**」**とも連携**。

##### <再生・事業承継>

- ・**中小企業活性化・事業承継支援事業【67億円】**
- 計画策定支援、事業承継のマッチング・診断のため、各都道府県にある**中小企業活性化協議会及び事業承継・引継ぎセンターの体制を拡充**。

#### 6. 災害からの復旧・復興【209億円】

- 被災地域の速やかな復旧及び復興を支援するため、令和2年7月豪雨に対するなりわい補助金、令和3年及び令和4年福島県沖地震に対するグループ補助金を引き続き措置。

### ●経産省、下請取引の適正化について関係事業者団体に要請

11月25日、経済産業省は経済産業大臣及び公正取引委員会委員長の連名による文書をもって、関係事業者約1,600団体に対し、下請取引の適正化について要請した。

ウクライナ情勢や円安等の影響により、エネルギー価格や原材料費の高騰が長期化する中、大きな影響が出ている中小企業・小規模事業者は、資金需要が高まる年末にかけて資金繰り等が一層厳しさを増すことから、下請取引の適正化を推進するため、「下請代金支払等の適正化」、「適正な価格転嫁の実現に向けた取組」を要請した。

○下請取引の適正化について(関係事業者団体代表者宛)



### ●経産省、中小企業・小規模事業者に対する金融の円滑化を関係機関に要請

経済産業省は「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」が閣議決定されたこと等に伴い、11月28日に新型コロナウイルス感染症の影響や物価高により、厳しい資金繰り状況に直面している事業者や、年末・年度末に向けて運転資金等の需要が高まることを踏まえ、中小企業・小規模事業者に対する金融の円滑化について、関係機関に対し、以下のとおり要請した。

- ・業況を積極的に把握し、資金繰り相談に丁寧に対応するなど、事業者のニーズに応じたきめ細やかな支援の徹底
- ・条件変更や借換え等に対して、事業者の実情に応じた迅速かつ柔軟な対応の継続
- ・借換保証制度の円滑かつ迅速な実施。日本公庫のスーパー低利融資やセーフティネット貸付の積極的な活用
- ・「業種別支援事例集」も活用しつつ、事業者の収益力改善・事業再生・再チャレンジの総合的支援に努めること

○配慮要請文「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」を踏まえた事業者支援の徹底等について



### ●主な補助金・助成金の申請スケジュール

a) 中小企業等事業再構築補助金

第8回公募：10月3日(月)～2023年1月13日(金)18時



b) ものづくり補助金〔一般型・グローバル展開型〕

第13次締切：12月22日(木)17時



c) 小規模事業者持続化補助金

第11回受付締切：2023年2月下旬予定



商工会連合会



商工会議所地区



d-1)IT導入補助金(通常枠)

9次締切(最終締切): 12月22日(木)17時予定



d-2)IT導入補助金(デジタル化基盤導入枠)

17次締切: 12月22日(木)17時予定

18次締切: 2023年1月19日(月)17時予定

19次締切(最終締切): 2月16日(木)17時予定



d-3)IT導入補助金(セキュリティ対策推進枠)

5次締切: 12月22日(木)17時予定

6次締切: 2023年1月19日(木)17時予定

7次締切(最終締切): 2月16日(木)17時予定



e-1)令和4年12月以降の雇用調整助成金の特例措置等について



e-2)令和5年4月以降の取扱いについては、新型コロナウイルス感染症の感染状況や雇用情勢を踏まえながら検討の上、改めて公表予定。

※新型コロナウイルス感染症で影響を受ける事業者への支援パンフレット(随時更新)

<https://www.meti.go.jp/covid-19/pdf/pamphlet.pdf>



## ●第144回繊維通商問題委員会開催

11月9日(水)、日本繊維産業連盟の第144回繊維通商問題委員会がオンラインで開催された。議題は、(1)日本の繊維貿易の現況について(2022年1~9月期・2022年9月)、(2)各国とのEPA交渉状況について。

### 1. 輸出入全般の動向

2022年1-9月期の繊維貿易

	円ベース		ドルベース	
	百万円	前年同期比(%)	百万ドル	前年同期比(%)
輸出	728,125	116.6	5,689	99.0
輸入	3,507,373	122.9	27,261	103.6

①2022年9月単月に関しては、輸出は円ベースで84,641百万円(前年同月比117.9%)、輸入は円ベースで520,468百万円(前年同月比139.6%)で、単月では輸出入ともに増となった。輸出のドルベースでは前年同月比が90.8%と落ち込み、円安の影響が出ている。

②2022年1-9月累計の繊維品別輸出入実績に関しては、輸出(円ベース)の前年同期比は繊維原料は119.6%、糸類(紡績糸・合繊糸)は110.3%で、うち綿糸は138.7%、毛糸は83.0%、合繊糸は115.5%。織物は122.8%で、うち綿織物は113.6%、毛織物は133.0%、合繊織物は126.7%。二次製品は114.6%。輸入(円ベース)の前年同期比は繊維原料は165.6%、糸類(紡績糸・合繊糸)は144.9%で、うち綿糸は159.3%、毛糸は185.7%、合繊糸は134.8%。織物は130.0%、うち綿織物は121.8%、毛織物は167.3%、合繊織物は139.4%。二次製品は121.3%。

## 2. 各国・地域別輸出入の動向

### ○輸出(2022年1-9月累計)

- I 2022年1-9月の前年同期比(円ベース)は、東南アジア(中国含む)向けは113.3%、欧州124.0%、米州126.6%。
- II 中国が111.2%、シェアは26.6%(前年同期比-1.3ポイント)で、輸出額では前年同期を上回るもののシェアは微減。
- III アセアンは115.9%。シェアは23.2%(前年同期比-0.1ポイント)で前年同期並みであるが、輸出額は増加を維持している。
- IV 前年同期比はすべての国で100%以上となり、世界計でも116.6%となった。19年同期比でも116.6%であり、輸出金額ではコロナ禍以前の水準に回復している。

### ○輸入(2022年1-9月累計)

- I 2022年1-9月累計の前年同期比(円ベース)は、東南アジア(中国含む)が122.9%、欧州118.4%、米州141.5%。
- II 中国が122.1%、シェアは55.1%(前年同期比-0.4ポイント)と輸入額は増加を維持したものの、シェアは微減である。
- III アセアンは123.4%、シェアが28.4%(前年同期比+0.1ポイント)と輸入額で増加を維持し、シェアでも微増となった。
- IV 前年同期比ではマレーシアを除くすべての国に対して増加傾向を維持し、世界計でも123.0%と好調である。特に、ミャンマーからの輸入額は前年同期比182.7%と大きく伸ばしている。続いて、円安の影響を考慮する必要があるものの、大洋州では160.7%、米国で153.9%と輸入額の伸びが大きい。





**繊維品輸出総括表9月実績、1-9月対比**

品目	単位	2021年1~9月			2022年1~9月			前年同期比(%)			2022年9月			前年同月比(%)		
		数量	千ドル	百万円	数量	千ドル	百万円	数量	ドル	円	数量	千ドル	百万円	数量	ドル	円
繊維原料	トン	319,866	656,057	71,345	312,655	667,782	85,339	97.7	101.8	119.6	30,007	61,285	8,772	91.2	74.9	97.3
合繊短繊維	トン	119,942	525,923	57,213	116,714	512,871	65,513	97.3	97.5	114.5	11,020	47,262	6,765	77.6	68.9	89.6
セルロス短繊維	トン	7,945	32,928	3,577	6,866	28,342	3,634	86.4	86.1	101.6	447	1,491	213	54.8	39.8	51.6
糸類	トン	80,763	747,439	81,171	78,342	701,966	89,554	97.0	93.9	110.3	8,833	74,397	10,649	95.8	86.3	112.2
毛糸	トン	240	9,053	988	190	6,327	820	79.2	69.9	83.0	19	716	103	158.3	125.6	163.5
絹糸	トン	931	10,271	1,118	1,598	12,048	1,550	171.5	117.3	138.7	240	1,235	177	106.2	77.4	100.6
合繊糸	トン	70,123	575,339	62,499	69,043	565,419	72,178	98.5	98.3	115.5	7,826	61,186	8,758	98.1	90.9	118.0
セルロス繊維糸	トン	6,490	90,603	9,819	6,655	89,960	11,408	102.5	99.3	116.2	660	8,310	1,189	100.8	88.3	114.7
織物類	千㎡	476,054	1,422,755	154,577	481,711	1,481,984	189,777	101.2	104.2	122.8	52,721	149,851	21,450	100.4	98.1	127.4
綿織物	千㎡	54,650	223,931	24,360	51,833	216,903	27,674	94.8	96.9	113.6	5,197	19,552	2,799	85.0	82.6	107.3
絹織物	千㎡	2,764	24,830	2,694	2,835	22,291	2,851	102.6	89.8	105.8	283	2,245	321	122.5	98.8	128.4
毛織物	千㎡	6,811	77,633	8,496	8,808	85,736	11,296	129.3	110.4	133.0	1,079	10,217	1,462	114.8	98.1	127.4
合繊織物	千㎡	339,388	788,738	85,625	384,680	848,031	108,474	113.3	107.5	126.7	42,851	88,253	12,833	111.1	98.9	128.8
セルロス繊維織物	千㎡	21,982	101,934	11,070	25,017	106,233	13,608	113.8	104.2	122.9	2,751	11,257	1,611	108.3	97.3	126.5
二次製品	トン	147,918	2,920,195	317,190	150,926	2,837,612	363,455	102.0	97.2	114.6	16,177	305,782	43,770	100.7	92.5	120.1
衣類	トン	3,587	635,879	69,052	4,482	661,441	87,259	125.0	107.2	126.4	591	79,723	11,412	124.2	94.2	122.4
その他	トン	144,332	2,284,316	248,138	146,443	2,156,171	276,196	101.5	94.4	111.3	15,587	226,059	32,358	99.9	91.8	119.3
総計	トン	611,657	5,746,445	624,284	611,885	5,689,333	728,125	100.0	99.0	116.6	62,632	591,315	84,641	96.1	90.8	117.9

(注)1. 「繊維品」の範囲は統計分類1404.20,4015,4203,4303,4304,50~63(EX.5604),65,7019,12,7019,19200,7019,19900,7019,40~59である。  
2. 糸類には人造繊維の長繊維糸(小売用)(5406.00-000)を含む。

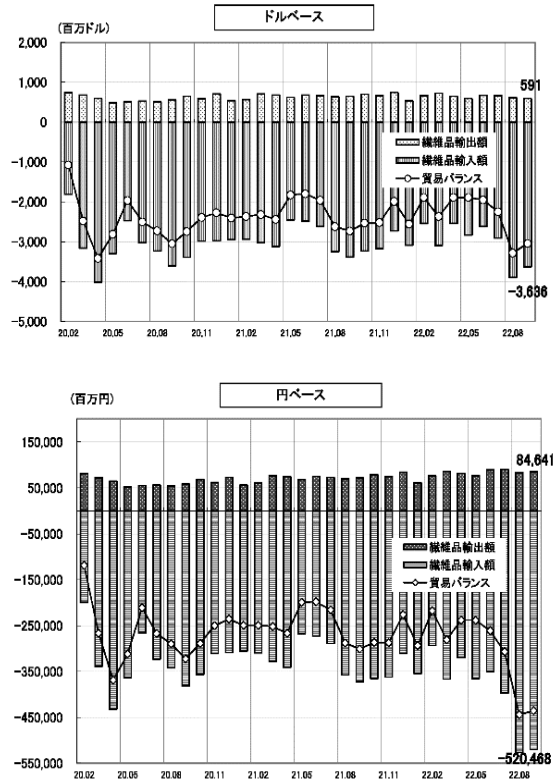
**繊維品輸入総括表9月実績、1-9月対比**

品目	単位	2021年1~9月			2022年1~9月			前年同期比(%)			2022年9月			前年同月比(%)		
		数量	千ドル	百万円	数量	千ドル	百万円	数量	ドル	円	数量	千ドル	百万円	数量	ドル	円
繊維原料	トン	182,803	400,998	43,538	204,848	562,602	72,102	112.2	140.3	165.6	21,372	60,637	8,680	117.5	144.8	188.1
まゆ・生糸	トン	282	12,608	1,371	278	15,511	1,971	98.7	123.0	143.8	12	726	104	35.3	37.8	49.3
羊毛等	トン	4,571	46,393	5,040	6,402	72,178	9,268	140.1	155.6	183.9	679	6,938	993	146.3	150.2	195.1
綿花	トン	50,119	83,876	9,118	53,930	120,988	15,532	107.6	144.2	170.3	4,939	14,252	2,040	106.3	193.9	251.9
合繊短繊維	トン	62,454	125,693	13,631	66,274	148,049	18,997	106.1	117.8	139.4	7,533	16,001	2,290	122.5	123.1	159.9
セルロス短繊維	トン	11,028	26,192	2,844	11,311	28,009	3,572	102.6	106.9	125.6	1,089	2,820	404	97.5	97.0	126.3
糸類	トン	194,971	731,476	79,483	201,489	897,930	115,161	103.3	122.8	144.9	19,763	91,463	13,092	88.3	105.0	136.4
毛糸	トン	1,856	39,146	4,256	2,713	61,434	7,904	146.2	156.9	185.7	273	5,855	838	118.2	138.2	179.4
絹糸	トン	551	27,043	2,936	670	39,220	5,060	121.8	145.0	172.3	84	4,518	647	158.5	169.3	220.1
合繊糸	トン	36,045	152,485	16,561	36,403	205,622	26,390	101.0	134.8	159.3	3,796	21,708	3,107	97.2	122.9	159.6
セルロス糸	トン	145,065	452,909	49,214	149,173	517,755	66,341	102.8	114.3	134.8	14,371	51,783	7,412	85.4	93.8	121.9
セルロス糸	トン	7,806	36,789	4,000	8,807	46,039	5,879	112.8	125.2	147.0	836	4,261	610	89.7	100.4	130.3
織物類	千㎡	601,283	823,798	89,483	622,888	908,955	116,361	103.6	110.3	130.0	63,180	86,243	12,345	97.0	94.6	122.9
綿織物	千㎡	147,008	147,466	15,996	125,239	152,166	19,483	85.2	103.2	121.8	12,587	14,937	2,138	88.6	99.8	129.7
絹織物	千㎡	2,089	20,697	2,247	2,046	22,360	2,872	97.9	108.0	127.8	249	2,394	343	98.8	89.8	116.7
毛織物	千㎡	5,023	56,882	6,205	7,760	79,605	10,384	154.5	139.9	167.3	1,015	8,638	1,236	220.7	204.7	265.8
合繊織物	千㎡	361,317	372,308	40,466	400,462	440,023	56,405	110.8	118.2	139.4	41,578	43,595	6,240	102.0	95.3	123.8
セルロス織物	千㎡	59,180	31,982	3,464	64,892	33,732	4,293	109.7	105.5	123.9	5,764	3,280	470	86.3	109.7	142.9
二次製品	トン	1,526,741	24,357,631	2,641,990	1,591,870	24,890,846	3,203,750	104.3	102.2	121.3	212,855	3,397,736	486,352	107.5	107.4	139.5
衣類	トン	758,119	19,157,297	2,078,015	787,145	19,595,511	2,524,440	104.1	102.3	121.5	122,183	2,806,826	401,740	111.2	108.4	140.9
その他	トン	770,622	5,200,334	563,975	804,725	5,295,335	679,310	104.4	101.8	120.5	90,672	591,110	84,612	102.9	102.7	133.5
総計	トン	2,044,195	26,313,904	2,854,494	2,135,409	27,280,334	3,507,373	104.5	103.6	122.9	266,756	3,636,079	520,468	105.3	107.4	139.6

(注)1. 「繊維品」の範囲は統計分類1404.20,4015,4203,4303,4304,50~63(EX.5604),65,7019,12,7019,19090,7019,40~59である。  
2. 糸類には人造繊維の長繊維糸(小売用)(5406.00)を含む。

輸出入動向

年月	繊維品輸出額		繊維品輸入額		貿易バランス		為替レート 円
	百万ドル	百万円	百万ドル	百万円	百万ドル	百万円	
20.02	736.6	81,221	1,813.7	199,433	-1,075.0	-118,212	109.96
20.03	676.4	72,576	3,159.1	338,942	-2,482.7	-266,366	107.29
20.04	593.6	64,062	4,012.2	433,037	-3,418.7	-368,975	107.93
20.05	482.8	51,813	3,295.7	363,666	-2,812.9	-311,853	107.31
20.06	509.5	54,804	2,473.7	266,068	-1,964.2	-211,264	107.56
20.07	524.1	55,962	3,028.7	323,409	-2,504.7	-267,447	106.78
20.08	503.4	53,378	3,234.2	342,957	-2,730.9	-289,581	106.04
20.09	553.8	58,563	3,606.1	381,313	-3,052.3	-322,750	105.74
20.10	648.7	68,266	3,394.0	357,179	-2,745.3	-288,913	105.24
20.11	589.4	61,537	2,984.1	311,538	-2,394.6	-250,001	104.40
20.12	703.1	72,991	2,977.5	309,129	-2,274.5	-236,138	103.82
21.01	541.3	56,134	2,948.4	305,745	-2,407.0	-249,611	103.70
21.02	569.6	60,011	2,939.1	309,666	-2,369.6	-249,655	105.36
21.03	704.6	76,560	3,023.9	328,550	-2,319.3	-251,990	108.65
21.04	681.9	74,414	3,124.1	340,930	-2,442.2	-266,516	109.13
21.05	621.2	67,829	2,449.6	267,466	-1,828.4	-199,639	109.19
21.06	683.5	75,259	2,483.7	273,478	-1,800.2	-198,219	110.11
21.07	658.6	72,638	2,621.9	289,169	-1,963.3	-216,531	110.29
21.08	634.1	69,653	3,256.3	357,672	-2,622.2	-288,019	109.84
21.09	651.6	71,781	3,384.6	372,877	-2,733.0	-301,096	110.17
21.10	695.6	78,676	3,231.2	365,451	-2,535.6	-286,775	113.10
21.11	656.8	74,966	3,177.8	362,676	-2,520.9	-287,710	114.13
21.12	742.0	84,493	2,729.8	310,847	-1,987.8	-226,354	113.87
22.01	531.5	61,032	3,089.5	354,767	-2,558.0	-293,735	114.83
22.02	657.5	75,743	2,548.1	293,542	-1,890.6	-217,799	115.20
22.03	725.3	85,959	3,095.0	366,783	-2,369.6	-280,824	118.51
22.04	650.1	81,942	2,541.8	320,372	-1,891.7	-238,430	128.04
22.05	592.5	76,305	2,836.2	365,244	-1,891.7	-238,430	128.78
22.06	668.5	89,481	2,620.3	350,753	-1,951.8	-261,272	133.86
22.07	660.8	90,289	2,910.1	397,612	-2,249.3	-307,323	136.63
22.08	611.7	82,733	3,897.7	527,120	-3,285.9	-444,387	135.24
22.09	591.3	84,641	3,636.1	520,468	-3,044.8	-435,827	143.14
22.01-09	5,889.3	728,125	27,280.3	3,507,373	-21,571.0	-2,779,248	
前年同期比	5,746.4	824,279.0	26,231.5	2,845,555.0	-20,485.1	-2,221,276	
前年同期比	-57.1	103.846	1,028.9	661.818	-1,086	-557,972	
	99.0%	116.6%	103.9%	123.3%	105.3%	125.1%	



●綿工連産地・企業の新聞記事一覧（2022年11月）

繊維ニュース

- 11月 2日 PTJ 良質な風合い 訴求 タケミクロス 古橋織布とのコラボ生地をイチ押し(遠州)
- 11月 2日 たまゆらサステナブル展 ヨシから始めるSDGs体験ツアーに高麻が協力(高島)
- 11月 2日 玉木新雌 次世代に播州織伝える モノ作りの原点見直す(播州)
- 11月 2日 デニム製品の循環 PJ 開始 ランドダウンアンダー 篠原テキスタイルが織布(広島)
- 11月 2日 児島「ジャパンデニムデイズ」などのイベント開催 家族連れで活気あふれる(岡山)
- 11月 2日 『往来』日本綿布 川井社長 本社隣接直営店 市の繊維、観光業に役立てれば(備中)
- 11月 4日 PTJ 古橋織布(遠州) シャトル織機こおる膨らみ感/カイハラ 機能性を意識(広島)
- 11月 8日 福山市 デニム関連企業の販路開拓 福山城で商談会(広島)
- 11月 8日 「織博」オンラインで産地ツアー 1200人の学生参加(三備)
- 11月10日 ジーンズソムリエ 3年ぶり有観客で第9回認定授与式 篠原テキスタイル 豊田経済戦略室長などに授与(広島)
- 11月11日 JAFIC 原宿で「匠の技」展「J∞クオリティー」事業で 中国紡織が出演(広島)



- 11月15日 三備産地“循環型”の取り組み進む 他社を巻き込みながら 染色加工のセイショクなど
- 11月15日 『きいボード』デニムの甲冑 縫製のアパークスが制作 篠原テキスタイル等が協力(広島)
- 11月16日 「第1回シャツル織機次世代ネットワーク交流会」丸進工業など保有企業が交流深める(岡山)
- 11月16日 「織博」モノ作りの現場間近に リアル産地ツアー開催(三備)
- 11月17日 『特集 ビワタカシマ24春夏』天然繊維の魅力発信 サステ生地がめじろ押し
- 11月17日 セイショク 布積層板の認知度向上へ 染色加工では新規開拓推進(岡山)
- 11月21日 ビワタカシマ24春夏 11月24, 25日、大阪・綿業会館で(高島)
- 11月21日 9月の岡山県織物生産 7月以降伸び悩む (岡山県織物工業組合纏め)
- 11月25日 高島産地 それぞれの挑戦が実を結ぶ 海外、商品開発、顧客対応など
- 11月25日 播州織産元の桑村繊維 「回復から成長へ」中国、欧米へ提案強化
- 11月28日 タカヤ商事「RNA」23春は「青」を強調 “修復”テーマに色使い 鮮やかに(備中)
- 11月29日 高島産地 カラーや柄の提案が充実 「綿以外」との複合も進む
- 11月29日 10月の岡山県織物生産 前月より減少幅縮小(岡山県織物工業組合纏め)
- 11月30日 「エシカルファッション協議会」設立 繊維業界からエシカル経済けん引(三備)
- 11月30日 遠州産地発のハウス 東京にショールーム開設 関東圏に遠州織物の魅力発信  
『JFW-JC&PTJレビュー 新時代の潮流をつかめ』
- 11月17日 古橋織布と協業 麻織物を得意とするタケミクロス 天日干しの綿織物を訴求(遠州)
- 11月22日 「倉敷染」草木から抽出した天然染料で製品染したウールTシャツ提案(岡山)
- 11月25日 古橋織布=シャツル織機のイメージ定着 定番に加え太番手で凹凸感ある生地が人気(遠州)

## 織研新聞

- 11月 1日 タカヤ商事「スウィートキャメル」23年春夏 グリーンやパープルの細見パンツ(備中)
- 11月 2日 <PTJ23年秋冬、JFW-JC2023> 付加価値高める工夫多彩に  
播州織総合素材展 ジャカードやエコ素材充実 /カイハラ インディゴで高摩擦堅牢度(広島)
- 11月 4日 <PTJ23年秋冬、JFW-JC2023>  
中小企業のサステナブルな物作り 「倉敷染」協業で安心安全な加工(岡山)  
素材の魅力発信に工夫 「井原デニム」新しい風合いや機能性を追求(備中)
- 11月 8日 タカヤ商事「カフエッティ」23年春夏 デニムパンツを充実(備中)
- 11月 9日 JAFIC「Jクオリティー」東京原宿で「匠の技展」11月21, 22日 中国紡織が出展(広島)
- 11月16日 玉木新雌 紡績設備を導入 循環型物作りへ 産地内外の協業も加速(播州)
- 11月18日 高島織物工業協組 大阪でビワタカシマ素材展開催 サステナブル素材充実

- 11月18日 ジーンズソムリエ認定証授与式開く 3年ぶりの有観客、工場見学も(三備)  
『日本素材の強さ PTJ23年秋冬、JFW-2023から』
- 11月16日 タケヤリ コルクシートと帆布のボンディングを開発(岡山)
- 11月17日 得意素材を持ち合った水平連携 古橋織布の綿織物をタケミクロスの協力工場で(遠州)  
『PTJ・JFW-JCにみる23～24年秋冬テキスタイル』
- 11月21日 身近な廃棄物を衣料素材に 高麻・駒田織布(高島)、ショーワ・倉敷染(岡山)
- 11月22日 デニムにひねり クロキ(備中)・岡本テキスタイル(岡山)

### ●特許公開情報

2022年11月に公開された織物の製造方法に関する、特許公開情報です。

特許電子図書館 HP: <https://www.j-platpat.inpit.go.jp/>

検索範囲: 4L048, D03D1/00～D03D27/00

[特許公開情報]

(2022年11月公開分)

<11月分>

項番	文献番号	出願人	発明の名称
1	特開 2022-165968	ジョージア テック リサーチ コーポレーション(米)	織布複合材料の連続的な製造のためのシステムおよび方法
2	特開 2022-166370	クラレファスニング(株)	ポリエチレンテレフタレート系面ファスナー
3	特開 2022-166595	小松マテーレ(株)	布地の製造方法、布地及びそれを用いた繊維製品
4	特開 2022-166674	倉敷紡績(株)	制電性織物及び制電性衣服
5	特開 2022-166677	(株)カツクラ	装飾性遮光織物およびそれを用いたカーテン
6	特開 2022-166716	日本フェルト(株)	製紙用2層織物
7	特開 2022-167898	デュボン セイフティー アンド コンストラクション インコーポレイテッド(米)	アラミドおよびモダクリル繊維を含む炭素含有繊維ブレンド
8	特開 2022-168320	日東紡績(株)	ガラス繊維用ガラス組成物、ガラス繊維、ガラス繊維織物及びガラス繊維強化樹脂組成物
9	特開 2022-169683	日本フィルコン(株)	工業用二層織物



10	特開 2022-170626	デフン テキスタイル カンパニー, リミテッド (韓)	安全ランヤードのバンド
11	特開 2022-172035	山岡 俊秀 (東京都)	織物デザインプログラムおよび製織方法
12	特開 2022-172522	(株)オートネットワーク技術研究所 住友電装(株) 住友電気工業(株)	シールド部材
13	特開 2022-172523	(株)オートネットワーク技術研究所 住友電装(株) 住友電気工業(株)	シールド部材
14	特開 2022-172876	ユニチカトレーディング(株)	衣料用積層体および感染防止衣料
15	特開 2022-176521	トヨタ紡織(株) 榎屋ティスコ(株)	玉縁及びその製造方法
16	実登 3239739	(株)青山	装飾用品

### 11月の行事

- 11月 1～2日 …… JFW-Premium Textile Japan 2023 A/W、JFW-Japan Creation 2023  
(東京国際フォーラム)
- 11月 8日 …… 綿工連産地組合事務局会(知多産地)
- 11月 9日 …… 第144回繊維通商問題委員会《オンライン》
- 11月17日 …… 繊維産連幹事会《オンライン》

### 12月以降の行事

- 12月10日 …… 綿工連綿's 倶楽部委員会(名古屋)
- 12月15日 …… 繊維産連常任委員会、技能実習適正化推進・取引適正化推進委員会(東京・日本橋)  
2023年
- 1月24日 …… 繊維産連役員総会(東京・東京プリンスホテル)

いいものはきもちいい。  
——こだわりの品質、ジャパン・コットン。

JAPAN  
COTTON



Pure Cotton



綿100%  
「ピュア・コットン・マーク」

JAPAN  
COTTON



Pure Cotton

綿混率50%以上  
「コットン・ブレンド・マーク」

JAPAN  
COTTON



Cotton Blend

日本で生まれて日本に育った私たちは、日本人だけに分かる心地よさを知っています。たとえば、春の日溜まりのぬくもり、夏の打ち水の涼しさ、障子からもれる明かり、鈴虫の音色。日本人だからこそ分かる本当の快適さを、しっかりと保証するための印を作りました。

ジャパン・コットン・マーク。日本国内で製造した高品質の綿素材を使用した製品だけに、その優れた品質を保証して添付されます。